

自由記述まとめ

(卒業生から後輩に伝えたいこと (平成 29 年度学部卒業生))

8. 学生生活について (3)

(3) あなたが現在の学生にアドバイスをするとしたら、上記のような大学時代の学習や経験などの程度すすめますか。

総合科学部

- ・時間を無駄にせず、フットワーク軽くさまざまな経験をしてほしいと思います。
- ・インターンシップは就職に直接関わってくるので、早めに行きたい企業を絞って、行っておいの方がいい
- ・交友関係を積極的に広げられると、卒業後の人のつながりが増えてよいと感じる。
- ・今しか出来ないことがきっとあるはずなので、それを見つけて楽しんでほしいなと思います。
- ・友達をつくり情報収集する。
- ・広島大学は関東では地方の国公立としか認識されていないのできちんと大学 4 年間で知識や経験を積んで自分の価値を高めなければなんの価値もない人間に成り下がります。
- ・パソコンの講座は受けておくと便利だと思う。どこに就職しようとしてもアピールポイントになる。

文学部

- ・留学は半年くらいしておいた方が、能力的にも、気持ち的にもいい気がします。
- ・文学部で、専攻と直結する仕事に就く人は少ないと思うが、だからこそ学生時代に勉強からアルバイト、留学など幅広く活動しておくといずれかの経験が役に立つかと思う
- ・文系なら、部活、留学等、何か特出した経験をすべきだと思う。入社すれば学部問わず皆横一線。入社前に色んな経験を経て得た価値観が、今後は左右する。
- ・色々な人と繋がるのが大切。
- ・サークル活動への積極的な参加をおすすめします。一生の友人ができます。
- ・学生時代に習得できる実務スキルなどたかが知

れているので、その時間は別のものに注力すべきだと思います。一部、国家資格等は別だとは思いますが。

- ・サークルやアルバイトなどやれることはたくさんあり、様々なことに挑戦してもらえればと思いますが、大学での学習活動を最優先にすると良いと思います。
- ・何事にも積極的に取り組んでほしいです。授業もアルバイトもサークル活動も、そこで何を得ているか目的意識を持って生活してください。
- ・もっと卒業論文に真剣に取り組んでほしい。きちんとした論文を書くことで、論理的な能力が身に付き、社会に出てから専門外であっても役に立つと思う。
- ・大学だからこそ学問を身近に感じられるので、知的なものにたくさん触れてほしい。仲間と一緒に一生懸命打ち込める活動をしてほしい。
- ・広島大学は立地的に閉じた地域にあるので、大学生活がうまくいかないときに塞ぎ込んでしまう学生が多いように思う。そのため、大学以外にもしくは各部以外にも、別のコミュニティに属する方が良いと思う。そういう意味で、アルバイトやサークル活動・ボランティアなどを薦めたい。
- ・海外留学は、見聞を広める上でも大事である。

教育学部

- ・自分の価値観や知見が広がるので、サークルやアルバイトを通して多くの人と関わると良いと思います。
- ・海外留学には行っておいて損はないと思います。特に START プログラムは 20 日間程度で費用も安く、夏休みや春休みを利用して海外経験ができるのがとても良いです。他学部の友人もできます。
- ・学生時代にどれだけ能動的に学問を修得したり、体験活動に参加したりするかで就職後の手札が大きく変わることを伝えたい。恐らくこの手のことを聞いたことはあるはずだろうが本当にそ

自由記述まとめ

(卒業生から後輩に伝えたいこと (平成 29 年度学部卒業生))

うだと知ってもらいたい。きちんと取り組めた人は自然と活かしているからやってよかったと強く実感する機会はないかもしれないが、やらなかった人は現実を突きつけられて非常に後悔することになる。

- 学業以外の自分の力になることをサークルやアルバイトで身につけて欲しいです。
- 私のように大学で学んだことが直接仕事に役立つような分野では特に積極的に授業を受けた方がいいと思います。後悔します
- アルバイトは学習に支障が出ない程度には勤しんで良いと思います。学内バイトよりも外のバイトに行った方が世間を見る目が養われると思います。
- 何か好きなことに熱中すると良いと思います。学業でもサークルでも。
- 自分の将来を見据えて必要だと思うことをやり切って欲しい。
- 学生で時間のある時に、興味のある資格、スキルを身につけてもらいたい。
- 生活習慣を整え勉強や自分のやりたいこと、将来について考える時間と遊びやクラブを両立させること。留学は行ったほうが良い。時間を有効活用する。
- 授業への参加や単位の取得を前提として、サークルやバイト先などでの友人関係を大切にすることも、卒業後の大きな支えになると思います。
- 学部の時間のある時にたくさん本を読んで (ジャンル問わず、興味あるものなら何でも)、知識を蓄積してほしいと思います。
- 社会人になると大半の時間を仕事に費やすことになるので、海外留学や資格取得など時間のかかることに挑戦してほしい。自分だけの夢を見つけられるよう色々な人と出会ってほしい。
- 大学を卒業してから、「もっと勉強すればよかった」と思う場面が多いので、できる限りの授業を履修し、修得してもらいたいと思う。アルバイトの経験が一番大きいので、少しでも経験したほうが良いと個人的には思う。

- 自主的に学ぶ姿勢を持つ。複数のコミュニティに参加すること。
- とにかくアンテナを多く持ち、いろんなことに好奇心旺盛に取り組んでもらいたいと思います。大学生ほど、自分の知らないことに毎日出会える場は他にはあまりないと感じるからです。いろんな分野の色々な授業を選択できることは、大学生が持っている貴重な権利だと感じています。
- 強くオススメする。知識を入れるだけではなく、大学生同士、また、その他の外部機関と繋がり、多くの経験をすること。様々な人と接する、海外を経験するなどして、自分の価値観を広げ、フラットな目線で社会に参画すること。
- 授業をたくさん取ったり、色々な活動に取り組むこと自体は悪くないですが、とりあえずやるのではなく、それぞれ目的を持って取り組むことができれば、より充実した大学生活になると思います。
- 学業とサークル活動のバランスを保ちつつ、どちらにも専念してほしいと思います。私自身はサークル活動への力の入れ具合が 8 割ほどでほとんど勉強をしておりませんでした。今になって後悔をしております。また、卒業後の進路などを相談できる先があると良いと思っています。それは学内でも良いですし、学外でも良いと思います。学内の同級生と話しても正直あまり意味がないと思っているので、進路などに関しては、卒業生であったり、家族であったり、すでに社会に出て働いたことのある人などに相談できると良いのではと感じています。
- 大学での勉強はとても大事。友達と遊んだり旅行したりするのもとても大事。少しでもやってみたいと思ったことはどんなことでもチャレンジしてみるといい。卒業すると時間的にも立場的にもできなくなることが多いから。
- 学生だからできることをしたらいい。学生の時は、時間はあるけど金がない。社会人になると金はあるけど時間がない。広島大学はいい大学

自由記述まとめ

(卒業生から後輩に伝えたいこと (平成 29 年度学部卒業生))

だから誇りをもって学んでほしい。

- ・サークルなどをして、人の輪を広げる。
- ・今やりたいと思った事は今すぐに全部やった方が良いと思います。学んでいる内容を実生活の中で何に使えるのかも考えながら学ぶとより理解も深まります。
- ・人とのコミュニケーションは積極的に取るべき
- ・大学生活はあっという間に終わるので、大学でしかできないことを積極的にしてほしい。
- ・就職するとやりたくても制限されてくることもあるので、たくさんものに見て触れることを大切にしてほしい。
- ・その職の専門的な知識をつけることが大切。職につき、実際に経験して身に付いていくものもありますが、知識があるほど吸収しやすいと思います。職とは直接関係なくとも、さまざまな教養があると、かかわる人たちとのコミュニケーションがとりやすくなると思います。
- ・勉強だけでなく、とにかくやりたいことにどんどん挑戦してみる。社会を知るため、アルバイトをすること。教員を目指すなら、学校という組織以外を知るために、塾講師以外のアルバイトを経験しておくことも必要だと思います。
- ・特に教員を目指す学生さんへは、本や論文を読むだけでなく、実際に公立の教育現場に入る機会があればぜひ行ってみたいと思う。どんな授業をしているのか、どんな課題があるのかなどの現場の状況を見て、実際に体験して、その上で本などを読んでもっと基礎力をつけておけば良かったと後悔しているので…。
- ・専門科目はもちろん就職後も役に立つことが多いですが、興味のある分野の学びを深めることも大学時代しかできないので、役に立つかどうかではなく自分が学びたいかどうかで履修科目を選ぶこともあって良いと思います。もちろん卒業に必要な科目は最優先ですが。学外の活動(ボランティア、アルバイト)からも学べるのがたくさんあるので、興味のあることにはどんどん挑戦するべきです。交友関係を広げること

で一生ものの友人とも出会え、その後の人生が豊かになると思うので、出会いを大切に、様々な人との交流を楽しんでください。

- ・自分の本当に好きなことが、やりたい仕事になると仕事が楽しいので好きに出会うためにもいろんなことを経験して自分自身をよく知ることが大切。
- ・大学生活にはとても満足していたが、一つ後悔しているとしたら、留学に行かなかったことなので、スタートプログラムのような短期でも良いので、ぜひ積極的に行ってほしい。
- ・人生で一番、柔軟に時間を使える期間、授業以外での、自分の興味関心を深く探り自分と向き合う時間を大切にしてほしい。経験も、文献を読むことなどによる知識も、後の糧になる。
- ・授業は真面目に受け、積極的に学ぶ姿勢を持つこと。学部外の学生や教員と関わりを持つこと。(大学博物館バイトおすすめ!)教員を目指す人は特にアルバイトを経験しておくこと。
- ・大学で出会った新たな友人は大切にしたい方だと思います
- ・給付型の奨学金が色々あるので、ぜひ調べてほしい。アルバイトに時間を割くくらいなら、奨学金を生活費の足しにして、空いた時間で勉強や課外活動をしたかった。
- ・大学生ほど自由な時間があることはないと思います。アルバイトもいいですが、時間があるからこそできることにたくさん取り組めば、人生がより豊かになると思います。
- ・周りの人を大事にすること。
- ・どれが必要かは人によると思うが、いろんな活動をしてほしい。また、専門分野の勉強は働きながらするのは大変なのでしっかりやっておいの方が良いと思う。

法学部

- ・就職をするために通うのではなく、好きなことを学ぶために通うのだと意識してください
- ・せっかくの国立大学なので、休学にお金がかか

自由記述まとめ

(卒業生から後輩に伝えたいこと (平成 29 年度学部卒業生))

らない (もし認識が違っていたらごめんなさい。) 一年くらい留学しても良かったかなと思う。

- ・課外活動に積極的に取り組むことや授業への積極性を進めたい。社会人になってからもっと色々なことを経験しておきたかったと感じるようになった。
- ・大学生のうちにはしか経験できないものがたくさんあるし、就職してからは時間がなくなるので、参加できるものにはすべて参加したほうがよい。
- ・留学は大学を卒業するとなかなかできないので、学生のうちに経験しておくとういと思います。
- ・友人との交流や、自分と考え方の違う人と討論ができるのは学生生活が一番活発だと思います。自分の考えを言語化する機会をたくさん得て欲しい
- ・社会人的なスキルは働きだしてからで十分。とにかく経験を増やしてほしい。人から薦められたことを試す→本人へ伝えるという行動をたくさんとって欲しい。

経済学部

- ・やってみたいことを優先に履修するべき。迷ったら一回やってみればよいと思う。
- ・積極的にインターンなどを行い、特に県内就職する場合は広大ブランドを推す
- ・海外研修は就職してからはなかなか行けないので、会社を見るうえでもおすすめです。
- ・TOEIC、MOS (Excel・Word)、日商簿記など転職活動でも使用するような資格の勉強を学生時代にしておくことを勧める。特に事務系で働くなら MOS は持っていた方がよいので時間のある学生時代に勉強しておくとうい。時事は就活でも出てくると思うので日頃からニュースを見たり時事用の対策本で勉強しておくとう役立つと思う。サークルに入っておくと他の学部の人とも関わりを持てるし、同世代が進路や就活などどうしているか情報が入ってきやすいので入ることをお勧めする。ただし学部の勉強が疎かにならな

いように両立しやすいところを選ぶ方がよい。途中からサークルに入る人も割りといふことを知っておくと後から入ろうと思ったとき入りやすいかもしれない。友人との交遊: 広島大学は大学周辺に遊びに出かけるところが少ないので、仲の良い友人宅で遊ぶことが多い。女子寮は気軽に人を呼べないのでその点注意が必要。

- ・なんでも良いと思うので、何かに夢中になって欲しいです。それが間違いなく、今後の社会人生活に役立つと思います。学生生活、楽しんでください!
- ・様々な経験をすること。短期の海外留学や、学外での活動、同年代以外と積極的に関わるなど。また、そのなかで密度の濃い活動をおすすめ。短期留学プログラムなら同行者との深い交流も一生の宝になるし、学友と専門分野の議論をおこなうのも貴重な時間。そういった経験をたくさんできるのが大学生活のいいところ。
- ・同じ価値観を持った友人は社会人になった後もやりとりを続けていて、心の支えになっている。そのような友人を見つけるため交友関係を広げるように努めた方がよい。
- ・会社員として働く中で必要と感じることは、専門知識よりもプレゼン能力やコミュニケーション能力だと思うので、そういった能力を高められる活動をおすすめします。私がもう一度大学生に戻れるのであれば、リゾートバイトやゲストハウスでのヘルパーなどを通して、いろんな場所の知識や見解、交友関係を深めたいです。
- ・自分の好きなこと、やりたいことをしっかり見つめて行動すること。やりたいことが見つからない場合は取り敢えず色々なことに挑戦してみても、少しでも夢中になれることを探してみてもいい。働く色々な大人から色々なリアルな話を聞いてほしい。
- ・学費を払って (もらって) いる以上は、きちんと授業には参加するべき。教養や知識を身につけることもとても大切であるが、様々なコミュ

自由記述まとめ

(卒業生から後輩に伝えたいこと (平成 29 年度学部卒業生))

ニティに積極的に参加し、気の合う友人を見つけることが最も大切だと感じる。

理学部

- ・自分が興味のある分野について学外のセミナーやサマースクール、長期インターンなどに参加し、大学の外の世界とつながっておくことが重要だと思います。そこで出会った人の伝手で、大学教員になったり就職が決まったりした人を知っています。
- ・大学でしか学べないこともある。就職をゴールにするのではなく、興味のあることを沢山勉強して、アカデミックな道へ進むことも考えてみては。
- ・授業の内容が難しい、わからないからといって諦めないでほしいです。授業にきちんと出ていたら意外となんとかなることが多いです。

医学部

- ・社会人に必要な教養を身につけるべき
- ・海外留学をして、いろいろな視点を増やしておけば良かったと思います。
- ・留学やアルバイト、ボランティア活動など、学生の内にしかできない経験(時間のある学生だからこそできる経験)はしておいた方が良いでしょう。
- ・就職を見据えたスキルの獲得をしておくといい。
- ・大学時代の人間関係はその後も役立つと思うので、人脈を広げておくのはいいかと思います。将来の仕事に直結するような専門分野の学習や語学の学習はすすめたいたいです。

歯学部

- ・授業に毎回出席することで、教員とコミュニケーションもとれるし、実務的な能力の習得にも役立つことを伝えます。
- ・社会に出たらいくらでも働けるので、アルバイト中心の生活は勿体無い。留学や他業種のアルバイトなど、学生のうちだとチャレンジしやすい

い体験を見つけて時間を使ってほしい。

- ・学生時代に培った経験や交友関係、知識等は社会人になってからの糧になると感じています。何事にも積極的に取り組んでください。
- ・限られた 24 時間の中で自分を律し、毎回優先順位を付けながら、勉強、サークル、アルバイト、交友関係すべてを貪欲に楽しんで欲しいと思います。この時代に培ったバランス感覚が社会に出ても活かされることになると思います。
- ・部活など他者との関わりを持つことを勧めます。

薬学部

- ・なにかの店員さん等のアルバイトはしておいたほうが良いと思います。現在勤務する会社で、アルバイト未経験のひとが飲食店やコンビニ等の店員さんへの態度があまりにも横柄な様子を見てそう思うようになりました。

工学部

- ・しっかり遊んでおくことです。大学生は休みが長くて時間があるので、旅行や留学など、しておくべきです。
- ・透明性は要求される。金銭的援助があればバイトも要らない。友人が大学で最も大事、友人がいればサークルも必要ではない。留学せずともインターネットの普及と広島大学の国際性の高さで英語力は上がる。
- ・上位大学と比較して就職関係の知識が得にくい。ため何らかの対策をした方がよい。(卒業生との接点がない。田舎だから?)
- ・学業ももちろん大事ではあるが部活動やサークルなど学内の活動にも力を入れたほうが就職後も役に立つ。
- ・旅行には今のうちに行っておいた方が良いでしょう。(特に学生割もきくので)。
- ・学生時代にしかできない経験をしてほしく、何かに打ち込むことの楽しさを感じてほしいです。
- ・積極的に学外活動を行うべきだった
- ・大学で幅広い人とのコミュニケーション能力、

自由記述まとめ

(卒業生から後輩に伝えたいこと (平成 29 年度学部卒業生))

調整能力を身につけるため、教員や学生との交流の機会を大切にしてください。

- ・インターンシップは就職後にほとんど影響しない
- ・できるだけ多くの人と交流できる機会を増やす。なんでもいいので、何かに打ち込む経験をするのが重要。
- ・留学や課外活動など、時間をかけて取り組めることにしっかり取り組んでほしい。(就職してからでも仕事におけるスキル向上はいくらでもできると思う。)
- ・自分の専門分野以外の分野の勉強が出来る良い機会なので、是非いろんな授業をとってほしい
- ・何事も経験する事。
- ・新社会人でまともな文章を書ける人が少ない。最低限中学校で学ぶ範囲でよいので、正しい日本語を当たり前に見えるようになっておいてください。

真似して行ってください、とアドバイスします。

- ・専門を活かした業種に就職した場合、就職後に教員方や先輩と繋がる可能性があります。学生のうちに繋がりを持っておくと非常に有利です。
- ・気になることには挑戦していくべきだと思います。
- ・現在職場の立場としてインターンシップや採用の運営、統括を担当しております。総じて就職活動の場において「優秀」と定義する方は人生における引き出しの多さとその深さだと思っております。(新卒、キャリア双方) 上記項目を確認する際、日本国内の新卒採用においては専門性<人間力の形が続く以上、社会活動に参加し様々な経験を積んでいただきたいと思っております。

生物生産学部

- ・学生生活では不安なことも多々あると思いますが、やりたいことや興味のあることに迷った挙句やらなかった、やれなかったということがないようにポジティブに挑戦してもらいたいと思います。迷うくらいなら、やってみる！という精神が自分を成長させてくれます。
- ・学んだ事が活かせることがきっと来るので授業にはきちんと出ましょう。
- ・卒業後も交流関係を広く保つためにも、他の学部の人と繋がるアルバイトやサークルなどは絶対にやるべきだと感じる。また大学生活は時間がたくさんあるため、就職後はなかなかできない海外留学は行っておくべきだったと後悔している。
- ・サークル活動は、自分たちで企画などを行うことができるので、就職活動などで活かせることがあるかもしれません
- ・周りの人のいいなと思ったところは、どんどん